

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時 (当初の予定日)	令和5年8月23日(水)午後2時
開催場所	保健センター講堂
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 一部不可 ・ <input type="radio"/> 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	別紙のとおり
会議結果	
発言内容・ 発言者名(主な発言要旨)	
提出資料	別紙のとおり
その他	

令和5年度第2回食育推進会議次第

日 時 令和5年8月23日（水）
午後2時から
場 所 保健センター 2階講堂

1 開 会

2 議 事

(1)進捗状況調査について

(2)小金井市民歯と口の健康 2023 について(報告)

(3)ブローリー収穫大作戦について(報告)

(4)まろん食堂について (報告)

(5)多摩府中保健所・JR 東小金井駅・東京電機大学附属中学校高等学校の
「“ちゃんとごはん” 習慣で健康的な学生生活を」の駅構内での広報活動に
ついて(報告)

(6)学務課・健康課合同事業「親子でクッキング」について (報告)

(7)小金井市食育ホームページ編集委員会より

3 その他

4 閉会

小金井市食育推進会議委員名簿

令和5年8月23日

No.	選出区分	氏名
●市民（5人）		
1	公募市民	まきの 牧野 まや
2	公募市民	ささべ 雀部 かおり
3	公募市民	よこやま えりこ 横山 英吏子
4	公募市民	せのお かずこ 妹尾 和子
5	公募市民	おおた あつたね 太田 篤胤
●学識経験者（2人）		
6	実践女子大学生生活科学部食生活科学科准教授	やまぎし ひろみ 山岸 博美
7	野菜料理研究家	まつしま あおい 松嶋 あおい
●関係機関の役員又は職員（7人）		
8	小金井市立小金井第二中学校栄養士	はせがわ いくこ 長谷川 郁子
9	小金井市立小中学校PTA連合会	きたわき りえ 北脇 理恵
10	小金井市社会福祉協議会	いのうえ まさこ 井上 正子
11	東京都小金井歯科医師会	はっとり さとし 服部 聡
12	小金井市農業振興連合会	たかはし けんたろう 高橋 健太郎
13	東京むさし農業協同組合小金井支店	おおいし かずたか 大石 和孝
14	小金井市商工会	ほうや たくみ 保谷 匠
●関係行政機関の職員（1人）		
15	東京都多摩府中保健所	まつもと ゆうこ 松本 祐子
●市の職員		
16	小金井市福祉保健部長	おおさわ ひでのり 大澤 秀典

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和4年度実施分）

※1 自己評価（対前年進捗度）について
 A=充実・強化（事業を新たに実施した。または充実した。）
 B=前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）
 C=縮小
 D=未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果があったと思われる食育の視点（該当するものに「○」を付けてください。複数回答可）
 ①食育という言葉や意味を知っている
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発
 ④バランスのとれた食事をする等栄養バランスを意識した食生活の啓発
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる食育の視点 ※2							担当課	
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
4 具体的な施策の展開					“Koganei-Style”の地域展開														
①啓発活動の充実																			
			食育月間・食育の日の取組	<p>●食育行事として、歯科医師会主催の「歯と口の健康」イベントにおいて、下記の取組を実施 バネル展示・・・ひみこの歯がいーぜ！ 参加人数 275人</p> <p>●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。</p>	<p>コロナ禍のため、6月の食育月間中の「歯と口の健康」イベントは延期になり、同年12月5日に市民ホールで関係機関と連携し、限られたスペース（展示（1つ）のみ）で実施。保健センター同様、絵のコンクール入賞作品が展示されたため、家族連れが多かった。今後も可能なら継続したい。乳幼児メールは登録者が増えたため、配信数が増えた。</p>	B	<p>●食育行事として、歯科医師会主催の「歯と口の健康」イベントにおいて、下記の取組を実施(場所：保健センター) 食育コーナーでは、各種食育展示や食育クイズを実施した。また歯とロククイズの答えを展示物の中に2つ入れた。 ・野菜120g生・加熱の展示（使い捨て手袋の両手に生、片手に加熱の野菜を乗せて展示） →大人が1回の食事に食べたい野菜の量 ・生野菜サラダ30gと50g ・ペットボトル飲料に含まれる砂糖量モデル ・加工食品に含まれる塩分量 ・食育クイズ（食育HP編集委員会提供） 野菜の花の写真を用いて、何の野菜の花かあてる。 参加人数:314人（大人167人、子ども147人） ●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。 配信者数:1447名</p>	<p>絵のコンクール入賞作品が展示されたため、家族連れが多かった。会場が保健センターのため、展示スペースを広くとれた。今後食育月間では、保健センター内で掲示等も行いたい。</p>	B	○				○	○				健康課
			食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市HP・市立保育園、小中学校等で食育の啓発活動を行う。	<p>小金井市立小中学校全校での食育の日の取組 ① 毎月11日は「お箸の日」 箸を使ったメニューを提供し、マナーや持ち方等学ぶ機会を作っている。 ②毎月24日は「小金井和食の日」 和食献立を提供し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている ③小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した献立を取り入れた。 手作りルバーブジャム・ルバーブといちごのジャム・ルバーブとブルーベリーのジャム・ルバーブマドレーヌ・ルバーブといちごのマドレーヌ・ルバーブチキン・鶏のからあげルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブクランブル</p> <p>今後も継続していく。</p>	A	<p>小金井市立小中学校全校での食育の日の取組 ① 毎月11日は「お箸の日」 箸を使ったメニューを提供し、マナーや持ち方等学ぶ機会を作っている。 ②毎月24日は「小金井和食の日」 和食献立を提供し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている ③小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した献立を取り入れた。 手作りルバーブジャム・ルバーブといちごのジャム・ルバーブとブルーベリーのジャム・ルバーブマドレーヌ・ルバーブといちごのマドレーヌ・ルバーブチキン・鶏のからあげルバーブソース・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブクランブル・ルバーブチーズケーキ</p> <p>今後も継続していく。</p>	A	○	○	○	○			○		学務課			
			食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市HP・市立保育園、小中学校等で食育の啓発活動を行う。	<p>小金井市立小中学校全校での食育月間の取組 ①地場産物を使ったメニューの提供 トウモロコシ・とびうお ②地場野菜を使ったメニューの提供 ルバーブ・小松菜・きゅうり・玉ねぎ・大根・トマト・なす・人参・ねぎ・にんにく・ほうれん草・じゃがいも ③季節・行事にちなんだ料理の提供・図書コラボ給食・世界の料理・郷土料理</p>			<p>①地場野菜を使ったメニューの提供 ルバーブ・小松菜・きゅうり・玉ねぎ・大根・トマト・なす・人参・にんにく・じゃがいも・こまつな・きゃべツ・いんげん・とうもろこし ②季節・行事にちなんだ料理の提供・読書週間・歯と口の健康週間・図書コラボ給食・郷土料理</p>		○	○	○	○			○				

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
1	34	1	食育月間・食育の日の取組	<p>食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）に因み、食育に関するイベント等を行い、市報・市冊・学校等で食育の啓発活動を行う。</p> <p>けやき保育園 ・じゃが芋掘り 目的 土に親しむ、じゃが芋に興味を持つ、収穫する喜びを味わう 掘ってきた芋を翌日のおやつにゆでじゃがとして提供、自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物に興味を持つ ・年長児に向けて包丁、ピーラー指導（動画） 目的 わくわく会に向け、安全な包丁、ピーラーの使い方を教える 調理することに興味を持つ ・新メニューの開発と試作 ・豚汁クッキング 目的 お泊り会に向けて、包丁、ピーラーを使用する みんなで食べる料理を自分達で作る事により自信に繋げていく 食材や調理過程に興味を持つ ・小金井特産のルバーブを使用したおやつ の提供、ルバーブを実際触ってみる実物を見る 目的 小金井市の地場野菜を知る、食材に興味を持つ ・地域育児支援事業「なのはなひろば」 目的 地域の0歳児と保護者を対象に離乳食の情報提供、栄養相談に乗る</p>	<p>今後も継続していく。</p>	B	<p>けやき保育園 ・じゃが芋掘り 目的 土に親しむ、じゃが芋に興味を持つ、収穫する喜びを味わう 掘ってきた芋を翌日のおやつにゆでじゃがとして提供、自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物に興味を持つ ・年長児に向けて包丁、ピーラー指導（動画） 目的 わくわく会に向け、安全な包丁、ピーラーの使い方を教える 調理することに興味を持つ ・新メニューの開発と試作 ・豚汁クッキング 目的 お泊り会に向けて、包丁、ピーラーを使用する みんなで食べる料理を自分達で作る事により自信に繋げていく 食材や調理過程に興味を持つ ・小金井特産のルバーブを使用したおやつ の提供、ルバーブを実際触ってみる実物を見る 目的 小金井市の地場野菜を知る、食材に興味を持つ ・九条ネギを幼児クラスに見せて話をした 目的 食材を知る ・あじさいゼリー、冬瓜スープの提供 目的 旬の食材に触れる ・給食室で育てた野菜の集会（枝豆、オクラ） 目的 食材ができる過程を学ぶ、収穫する喜びを味わう ・0歳児クラス懇談会時に離乳食のサンプルを展示する 目的 保護者に保育園での食事を知ってもらう</p>	<p>今後も継続していく。</p>	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保育課
				<p>くりのみ保育園 ◎0歳クラス懇談会 ・栄養士から離乳食の進め方について話をしました。離乳食サンプルを掲示し、形態や食具を見てもらいました。 ◎季節の食材及びメニューの提供 ・2種のジュース（ぶどう・りんご）を使用して、あじさいに見立てた『あじさい寒天』をおやつとして提供しました。（全園児） ・おやつ時のケーキにその場で一人ひとりに粉糖をかけたり、イチゴをトッピングしたりして提供しました。 ◎幼児クラスクッキング 掘ってきたさつま芋を使ってスイーツボートを作りおやつで食べました。 ◎歯と口の健康習慣に伴うメニュー提供とPOP掲示 ・その日の人気メニューのレシピを掲示し、プリントし持ち帰れるようにしました。 ・七草粥の七草を由来などとともにPOPに掲示しました。 ◎園庭で育てた野菜を適宜給食に使用 ・なす、ピーマン、トマト、サトイモ、ブロッコリー、小松菜、カブを幼児クラスで育てて収穫し、給食室で調理し、食べました。 ・5歳児はジャガイモを4歳児の時に植え、収穫し給食室で調理してもらい食べました。</p>			<p>くりのみ保育園 ◎0歳クラス ・離乳食サンプルを掲示し、形態や食具を見てもらった。 ◎季節の食材及びメニューの提供 ・季節の食材を使用した献立や季節に因んだメニューの提供。 ・季節の食材の実物を見る、触ってみる等食体験を行う。（空豆のサヤむき体験等） ・夏野菜の栽培・収穫体験。給食に入れて提供。（ピーマン・ナス・トマト・じゃが芋・バジル・シソ等） ・給食レシピを写真付きで提示した保護者への情報提供。</p>			○	○	○	○	○	○	○			

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
						<p>さくら保育園 ・日頃から給食食材を納品してもらっている業者さんの顔写真を撮り、小金井市の地図のお店のある場所に顔写真と業者さんの特技などを書いたものを、園児や送迎の保護者のもとでもらえるように、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシピを写真で紹介したり、保護者が家庭で作ることができるように持ち帰り用のレシピを用意した。 ・旬野菜を使った献立を意識的に献立に入れるようにしている。 ・ジャガイモ掘り(幼児クラス)・サツマイモ掘り(年長児)を行い、自分たちで収穫したものを食べる経験をした。 ・年長児が野菜を育てて、収穫した野菜を給食で食べた。 ・クッキングは、幼児クラスが年齢別やクラス別で行った。年長児のパン作りでは生地作りから行い発酵の過程なども子どもたちが見ることができた。(その他、餃子パイ・クッキー・ピザ)</p>	<p>今後も継続していく。</p>	<p>さくら保育園 ・日頃から給食食材を納品してもらっている業者さんの顔写真を撮り、小金井市の地図のお店のある場所に顔写真と業者さんの特技などを書いたものを、園児や送迎の保護者のもとでもらえるように、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシピを写真で紹介、保護者が家庭で作ることができるように持ち帰り用のレシピを用意した。 ・行事食や子どもたちへの食材紹介に合わせて、行事の由来や食材紹介を保護者向けにも立間CPW掲示を行った。 ・旬野菜を使った献立や行事食を提供した。 (グリーンピースご飯、鮭のほりクッキー、あじさいゼリー、星の子スープ、十五夜でウサギ型の芋ようかん、七草が粥、鬼つ子ドライカレー、愚方便にちなんだ細巻、お祭りメニュー、ハロウィンメニュー、クリスマスメニュー) ・年長児のリクエストメニュー ・ジャガイモ掘り(幼児クラス)・サツマイモ掘り(年長児)を行い、自分たちで収穫したものを使ってクッキング(豚汁・サツマイモドーナツ)を行い、食べる経験をした。 ・年長児が野菜を育て、収穫した野菜を給食で食べた。 ・クッキングは、幼児クラスが年齢別やクラス別で行った。年長児のパン作りでは生地作りから行い、発酵の過程なども子どもたちが見ることができた。(その他、餃子パイ・クッキー・ピザ) ・幼児クラスにて旬の食材等の紹介や皮むき、魚(鯛)の解体教室を行った。 (九条ネギ、冬瓜、ズッキーニ、大玉スイカ、キノコ類、栗、乾物類、七草等の紹介、メロン、梨、りんご、洋ナシ、柿等の皮むき) ・5歳児は栄養士から3食食品群の話をし、3食食品群のゲームを行った。</p>	<p>今後も継続していく。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	保育課
1	34	1	食育月間・食育の日の取組	<p>食育月間(6月)及び食育の日(毎月19日)に因り、食育に関するイベント等を行い、市報・市HP・学校等で食育の啓発活動を行う。</p> <p>わかたけ保育園 ○季節の食材を使った給食の提供 ○子どもたちの前で料理の最後の仕上げをする。(お好み焼きのトッピングをする、ハンバーガーのソースを選んでもらいその場でぬるなど) ○5歳児に向けて包丁・ピーラー指導 ○5歳児クッキング(マヨネーズトースト、きりたんぼ汁、豚汁、カレーライス) ○4歳児クッキング(ピザトースト、きりたんぼ汁) ○行事食の提供 (七夕:星の子スープ、1月7日:七草がゆ、節分:大豆とじゃこのごはん・めざしのから揚げなど) ○子どもたちの喜びをしたらカレーライス(星形、クマ型など) ○魚の解体教室をし命を頂くことに触れる ○野菜を育てる、収穫した野菜を給食で食べる</p> <p>小金井保育園 ・近隣の畑にてじゃが芋掘り体験をしました(幼児) ・スイカ・メロンをくり抜き、おやつフルーツポンチのボウルとして提供しました。 ・幼児クラスの子どもたちで豚汁づくりをして、食べました。(年齢に応じて、食材ちぎり・皮むき・包丁を用いて食材切り)</p>	<p>今後も継続していく。</p>	B	<p>わかたけ保育園 ○季節の食材を使った給食の提供 ○子どもたちの前で料理の最後の仕上げをする。(お好み焼きのトッピングをする、ハンバーガーのソースを選んでもらいその場でぬるなど) ○5歳児に向けて包丁・ピーラー指導 ○5歳児クッキング(マヨネーズトースト、きりたんぼ汁、豚汁、カレーライス) ○4歳児クッキング(スコーン、きりたんぼ汁) ○行事食の提供 (七夕:星の子スープ、1月7日:七草がゆ、節分:大豆とじゃこのごはん・めざしのから揚げなど、ひなまつり:春を意識した献立) ○子どもたちの喜びをしたらカレーライス(星形、クマ型など) ○魚の解体教室をし命を頂くことに触れる ○野菜を育てる、収穫した野菜を給食で食べる</p> <p>小金井保育園 ・近隣の畑にてじゃが芋掘り体験をした(幼児) ・幼児クラスの子どもたちで豚汁づくりをして、食べた(年齢に応じて、食材ちぎり・皮むき・包丁を用いて食材切り)</p>	<p>今後も継続していく。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課	
2	34	2	小金井らしい食生活の推進	<p>離乳食教室(348名)、栄養講習会(39人)、フォローアップ教室(33人)等でバランスのよい食生活の啓発を行った。一部事業の中止及び昨年に引き続き定員の変更(およそ半数)、試食なしで講義とデモンストレーション、見本で実施。参加者が増えてきた。</p>	<p>離乳食教室は必要性が高いため、今後も継続、栄養講習会は飲食が可能になるまでは、調理実習技きの講義とデモンストレーション等で継続。味以外の部分は現在の方法でもアンケート結果などから伝わっていると思われる。フォローアップ教室の栄養のみの日も昨年は中止だったが、他の講習会同様で実施したい。</p>	B	<p>離乳食教室(348名)、栄養講習会(40人)、フォローアップ教室(58人)等でバランスのよい食生活の啓発を行った。講義とデモンストレーション、見本で実施。離乳食は昨年同様だが、他の事業は、参加者が少し増えた。</p>	<p>令和4年度は予定された事業は全て実施。離乳食教室は必要性が高いため、今後も継続し、R5は完了食を実施する予定である。栄養講習会も継続。</p>	○	○	○	○	○	○	○	健康課		

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課		
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
3	34	3	農業祭等での啓発活動	農業祭等で食育に関するブースを作る等、啓発活動を行う。	令和2年度から、農・商工業・観光一体となったイベント「こがねい産業まつり」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため規模を縮小し、物販のイベント及び絵画コンクール、カレンダーの作成を実施した。	■農業祭 既存の農業祭の会場に駅前再開発によりできたスペースを加えたエリアを活用し、商工会や観光まちおこし協会と連携して農・商業・観光一体となったイベントの開催を検討している。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、開催方法を検討していく。 ■農業絵画コンクール・食育カレンダー 令和4年度も実施することが決定しているが、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、実施方法を検討していく。	C	農・商工・観光が一体となったイベント「こがねい産業まつり」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「こがねい産業まつり」として、農業部門は11月、商工部門は3月に分散して開催した。 ■農業祭 開催日：令和4年11月12日、13日 会 場：小金井 宮地楽器ホール他 出品数：831点（令和元年度1,271点） ■農業絵画コンクール 出品数：277点（前年度221点） 入賞数：31点 ■食育カレンダーの作成 令和4年11月12日 作成数：900部 配布先：入賞者、市内公立小学校等	■農業祭 既存の農業祭の会場に駅前再開発によりできたスペースを加えたエリアを活用し、商工会や観光まちおこし協会と連携して農・商業・観光一体となったイベントを開催する。 ■農業絵画コンクール 令和4年度は、より多くの作品を集めるため、市内公立小学校の図工科の先生に絵画コンクールの取組みを案内した。令和5年度も引き続き案内する。 ■食育カレンダー 絵画コンクールの入賞作品と食育HPに掲載されているレシピを掲載し、食育カレンダーを作成してきた。令和5年度は7回目（絵画コンクールは9回目）となるが、食育HP編集委員会の協力いただき、地場産野菜の旬のレシピを掲載できるよう取組んでいく。	A										経済課
					農業祭は中止。	農業祭が再開されれば継続したい。	D	・令和4年11月12日（土）農業祭にて第4次食育推進計画のちらし、食育HPのちらし、てくてくマップを500部配布した。	今後も継続したい。	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課
4		4	資源循環（エコベジタブル）教室の推進	土作り、種まき、野菜の収穫、野菜くずを出さない環境に配慮した料理教室の一連の流れを実際に体験し、循環型社会について学ぶ。	1回目収穫体験・土づくり、2回目苗植え・種まき、3回目収穫・ハーブの寄せ植え 1回目8/21 参加者7名 2回目9/5 参加者8名 3回目11/28 参加者9名	B	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、エコッキングは実施しなかったものの、代替として料理用ハーブの寄せ植えを実施した。 今後も感染予防を行うつつ事業を充実させる方策を検討していく。	1回目夏野菜の収穫体験・土づくり、2回目種まき、3回目収穫かぶ・小松菜・ミニ大根・大根大根・ジャガイモ 1回目8/26 参加者15名 2回目9/16 参加者11名 3回目11/25 参加者14名	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、エコッキングは実施しなかったものの、代替として夏野菜の収穫体験を実施した。 感染症対策の動向を注視しつつ事業を充実させる方策を検討していく。	B	○								ごみ対策課	
5		5	夏休み生ごみ投入リサイクル事業	夏休み期間中、家庭から出た生ごみを小中学校に設置されたごみ処理機に投入することができる。希望者にはリサイクル堆肥を配布する。	実施校 6校 (1小、前原小、緑小、南小、1中、2中)	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができなかったが、令和3年度は感染予防に努めつつ実施することができた。 ボランティアの高齢化等により事業全体が縮小傾向にある。今後、運営方法や事業規模について関係者等と調整する必要がある。	実施校 9校 (第4小、南中、1小、前原小、緑小、南小、第3小、1中、2中)	ボランティアの高齢化等により事業全体が縮小傾向にある。今後、運営方法や事業規模について関係者等と調整する必要がある。	B									ごみ対策課	
6		6	食品リサイクル堆肥	市立小中学校・保育園、障がい者センター、集合住宅に設置した大型生ごみ処理機及び各家庭で使用している生ごみ処理機から生成される生ごみ乾燥物を回収し、食品リサイクル堆肥を製造、市民及び市内農家等へ配布する。	市施設、市民、戸別・拠点、集合住宅の投入量合計（生ごみ換算） 231,245kg 市民・農家への堆肥配布（随時）及び資源循環事業での使用（収穫体験計8回、資源循環教室：全3回）	B	令和2年度まで行っていた保育園児向けの講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、令和4年度は感染状況を鑑みながら事業の実施をしていきたい。	市施設、市民、戸別・拠点、集合住宅の投入量合計（生ごみ換算） 244,048kg 市民・農家への堆肥配布（随時）及び資源循環事業での使用（収穫体験計6回、資源循環教室：全3回）	市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せてすることで、ごみの減量及び資源循環の理解が深まった。 生ごみ処理機を利用されている方向けの収穫体験では、普段からごみ減量への意識が高く、収穫物の食べ方紹介では大根の葉を使用したレシピ等にも興味を持ってもらい、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。	B									ごみ対策課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
7	34	7	フードドライブ	家庭で余っている食品を拠点回収し、NPO団体及び社会福祉協議会を通じ、福祉施設等に届けるとともに、食品ロスを削減する。	実施回数：12回 参加人数：延べ221人 食品回収量：865.4キログラム	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内循環を図っている。今後も利用者拡大を目指し周知啓発に努め継続実施していく。	B	実施回数：12回 参加人数：延べ283人 食品回収量：1659.59キログラム	回収した食品は生活困窮者世帯や子ども食堂などに届けられるよう社会福祉協議会に引き渡し、市内循環を図っている。今後も利用者拡大を目指し周知啓発に努め継続実施していく。	B							○	ごみ対策課	
8		8	食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度	食品ロスと食べ残しの削減に積極的に取り組んでいる飲食店等を食品ロス削減推進協力店(または協力事業所)として認定し、市民に制度について周知することで、食品ロス削減の重要性についての理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携協力をして食品ロスの削減に向けた取組を促進する。	認定店14件	認定店(認定事業所)数の増加と、市民へのより効果的な周知方法について検討し、食品ロスの削減に寄与していく。	B	認定店16件	食品ロスマッチングサービスへの登録を認定要件として整理する等、認定店(認定事業所)においてもより多くのメリットを実感でき、かつ、市民への効果的な意識啓発が図られるよう、市民・事業者・行政の連携を深める方策を検討する。	B							○	ごみ対策課	
9		9	食品ロス削減月間の取組	食品ロス削減月間(10月)に、日常生活の中で無理なく実践できる食品ロスの削減に向けた取組の一つとして「すぐに食べる物を購入する場合は、手前に置いてあるもの(期限が近い物)から取る」ことを消費者である市民に促したり、ポスターの掲示などを行い、食品ロスを削減すると同時に食品ロスは身近で発生しているということを意識づけ、食資源を大切にすることを啓発する。	市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 2回	今後は、セブンイレブンや協力店以外の店舗にも食資源を大切にするための啓発に協力いただけるよう広めていきたい。	A	市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 2回	今後は、セブンイレブンや協力店以外の店舗にも食資源を大切にするための啓発に協力いただけるよう広めていきたい。	B								○	ごみ対策課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課			
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
“Koganei-Style”の地域展開 ②情報の整備															①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
10	35	1	食育市民アンケート調査	市民の食育の実態を把握するため、本計画終了前年度にアンケート調査を実施する。	市民アンケート調査は策定の前年に行うため、実施なし		次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなったらアンケート項目などを指標と合わせていきたい。	市民アンケート調査は策定の前年に行うため、実施なし	次回アンケートは令和7年度に実施する予定。近くなったらアンケート項目などを指標と合わせていきたい。		○	○	○	○	○	○	健康課				
11	35	2	食育ホームページ	市民ボランティアによる編集委員会を開催し、地域の食育及び食生活に関する情報を幅広く提供する。	市内小中学校との相互リンク済数 小学校8校 中学校4校 またレシピの追加や「おうちで作ってみよう」を掲載。健康課では、新規の記事をできる範囲でツイッターに掲載。さらに多くの市民の方に周知するため、健康課窓口及び各事業、成人式で食育HPのちらしを配布した。 会議はコロナ禍の中では、ほぼwebで行われた。	A	食育ホームページ編集委員会と協力し、市内の食育活動を中心に情報提供を継続して行う。またHPの広報チラシの配布先は、健康課事業窓口のみでは、限られるため、令和4年度当初には、公民館5館及び経済課窓口、小金井市視光まちおこし協会（駅敷地内等）においていただく予定である。また、編集委員が減ったため、新規に委員を募集する予定である。	市内小中学校との相互リンク済数 小学校9校 中学校4校 HPのちらしやレシピの追加を掲載。健康課では、新規の記事をできる範囲でツイッターに掲載。さらに多くの市民の方に周知するため、健康課窓口及び健康課事業、成人式に加え、公民館5館、経済課窓口、小金井市視光まちおこし協会（駅敷地内等）等で食育HPのちらしを配布した。また新たに食育HP委員の募集を行い、3名の方が編集委員に加わった。会議は、webと保健センターで行われた。	A	○	○	○	○	○	○	健康課					
12	35	3	食育ホームページ	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	市報に掲載する食育事業や、各児童館の食育イベントを紹介した。	A	今後も市報や市ホームページと同様に事業の掲載を継続したい。	市報に掲載する食育事業や、各児童館の食育イベントを紹介した。	今後も市報や市ホームページと同様に事業の掲載を継続したい。	A	○	○	○	○	○	○	健康課				
13	35	4	地場野菜等の情報提供	地場野菜等の種類・発売時期・発売場所等の情報を食育ホームページ等で提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ■庭先直売所マップ 庭先直売所マップ作成・配布・ホームページ掲載 作成数：6,000部 配布先：生産者、J A、経済課窓口他 市報6月1日号に掲載 食育HPに地図のみ掲載 経済課窓口にて設置・配布 わたしの便利帳に掲載 	A	約10年ぶりに庭先直売所マップ（冊子）を更新し、市報等では掲載できなかった販売している農産物の情報等も掲載した。経済課窓口の他、市内各施設等に設置。その他、市報等で庭先直売所を掲載し、広く市民への周知に努めた。 令和4年度以降についても、庭先直売所の情報を収集しながら、更新性を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■庭先直売所マップ 庭先直売所マップ配布・ホームページ掲載 配布先：生産者、J A、経済課窓口他 市報6月1日号に掲載 食育HPに地図のみ掲載 経済課窓口にて設置・配布 わたしの便利帳に掲載 	B	市報等への掲載及び令和3年度に作成した庭先直売所マップ（冊子）の配布及びホームページへの掲載により広く市民への周知に努めた。 令和5年度以降についても、庭先直売所の情報を収集しながら、市報・HP等への掲載を継続していく。						○	健康課				
					季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の庭先直売所マップや昨年中止だった農業カレンダーの編集にも協力した。	A	季節に応じて収穫できる野菜の紹介やその野菜を使用したレシピの記事を追加した。また、経済課の庭先直売所マップや農業カレンダーの編集にも協力した。加えて健康課では庭先直売所マップ1250部を第4次食育推進計画の配布先への同封、離乳食教室等の事業や「歯と口の健康」での配布、健康課窓口にも置いたが、令和4年度中にほぼ配布が終了した。	関係機関と連携を図りながら、充実した情報提供の場となるよう継続して実施する。	関係機関と連携を図りながら、充実した情報提供の場となるよう継続して実施する。	A								○	○	健康課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課		
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
“Koganei-Style”の地域展開					③各種団体等の食育推進に対する促進策			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦						
14	35	1	食育ホームページの活用	各種食育活動や食育コーディネーター実績の紹介等、情報発信を行う。	小金井市食育ホームページ内で地域の食育活動や野菜のレシピの紹介等、食に関する情報を掲載している。	多くの方に、小金井市食育ホームページを認知してもらえる様、チラシも工夫して事業等で周知していくとともに、さまざまな視点で「食」について伝えられるよう、引き続き充実を図る。	A	小金井市食育ホームページ内で地域の食育活動や野菜のレシピ(食べ方がわかりづらい珍しい野菜も含む)の紹介等、食に関する情報を掲載している。また、レシピに新たに栄養量も追加した。	多くの方に、小金井市食育ホームページを認知してもらえる様、チラシも健康課だけではなく、市内数か所に置いてもらい、周知していくとともに、さまざまな視点で「食」について伝えられるよう、引き続き充実を図る。	A	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
15	35	2	食育関連の人材の活用	市内の食育関連の人材を活用して市民協働による食育の推進を行い、関係機関の連携を図る。	庭先販売マップや農業カレンダーの記事について協力をいただいた。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図れるよう引き続き努めていく。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	A	農業カレンダーの記事について協力をいただいた。新しい市民ボランティアを募集し、3名の方にご参加いただくこととなった。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図れるよう引き続き努めていく。	A	○	○	○	○	○	○	○	健康課		
16	35	3	親子農業体験の促進	生産体験の機会促進に向け、農業経営者クラブが実施する「親子農業体験」の周知を図る。	■親子収穫体験(ダイコンの収穫体験) 対 象: 親子 参加数: 20組(60人) 参加 開 場: 東町の畑	令和3年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から収穫のみとなったため、令和4年度は、収穫した農産物の試食も含めて、親子で農業に親しんでいた機会を提供できるよう、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、開催方法を検討し実施する。	B	■親子収穫体験(ダイコンの収穫体験) 対 象: 親子 参加数: 20組(65人) 参加 開 場: 東町の畑	ダイコンの収穫体験及び収穫したダイコン等を使ったスープの試食など、親子で農業に親しんでいた機会を提供できた。令和5年度以降も継続して実施していく。	A						○		経済課		
17	35	4	学童収穫体験の促進	生産体験の機会促進に向け、農業振興連合会が実施する「学童収穫体験」への支援を行う。	ジャガイモ等の学童収穫体験 対 象: 市内公立小学校9校 もくせい教室 期 間: 令和3年6月から10月まで 参加数: 1,763人 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等及び雨天により例年実施している収穫体験を中止とした学校が一部あったが、中止となった学校へは、児童数分の収穫品を届けることで、地場産野菜を味わい、身近な農への関心を高める機会とした。	中止した学校以外の実施については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、極力生徒が密集しないよう学年・クラスを分散させる方法や生徒同士の間隔を開ける等の対応により実施した。その為、通常より時間を要し、農家による説明も複数回に渡る等、協力農家への負担が増大した。協力農家への負担も考慮し、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、継続して実施する。	B	ジャガイモ等の学童収穫体験 対 象: 市内公立小学校9校 もくせい教室 期 間: 令和4年6月から11月まで 参加数: 1,915人 猛暑及び雨天により収穫体験を中止とした学校があったが、中止となった学校へは、児童数分の収穫品を届けることで、地場産野菜を味わい、身近な農への関心を高める機会とした。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、極力生徒が密集しないよう学年・クラスを分散させる方法や生徒同士の間隔を開ける等の対応により開催してきた。そのため、通常より時間を要し、農家による説明も複数回に渡る等、協力農家への負担が増大した。協力農家への負担も考慮し、継続して実施する。	B							○		経済課	
18	35	5	地場野菜等の販売促進	新鮮で安全な地場野菜等の販売促進を目指して、庭先直売所の周知や、生産者、JA、事業者等の連携を推進する。	■庭先直売所マップ 市報や食育HP等でPRを実施 庭先直売所マップ作成・配布 ■JAファーマーズ・マーケットの後援 春の園芸市や年末年始の地場産農産物の販売に係るイベントを後援した。 ■学校給食 地場産農産物の積極的導入を図るため、学務課、経済課、栄養士、JAで給食用野菜の生産農家園場の見学会を実施した。	野菜の規格についての認識のズレからのトラブルが発生していたが、令和3年度も野菜の品質の良いものが納品されるトラブルが発生していることから、目合わせ会等共通の認識がもてるような機会を開催し、より多くの地場産農産物を導入しているよう課題の整理・解決に取り組んでいく。	B	■庭先直売所マップ 市報や食育HP等でPRを実施 庭先直売所マップ配布 ■JAファーマーズ・マーケットの後援 春の園芸市や年末年始の地場産農産物の販売に係るイベントを後援した。 ■学校給食 地場産農産物の積極的導入を図るため、学務課、経済課、栄養士、JAの関係者による懇談会の実施及び給食用野菜の生産農家園場の見学会を実施した。	より多くの地場産農産物を導入していける仕組みとして、令和5年度から市内地場産農産物を購入した小・中学校に対して、補助金を支給できるよう整備した。 野菜の規格についての認識のズレや野菜の品質の良いものが納品されるトラブルなどから、目合わせ会等共通の認識がもてるような機会を引き続き開催していく。	B								○		経済課
					歯と口の健康イベントは、配布なし。農業祭は、中止。健康課栄養事業内でのみちらしを配布した。また夏休みの栄養講習会(学務課との合同事業)で地場野菜について講義でふれた。	令和3年度末に完成した庭先販売マップについては、令和4年度当初に健康課で関係機関に第4次食育推進計画を配布するときに一緒に配布する予定である。	B	経済課の庭先販売所マップは、令和4年度当初に健康課から関係機関に第4次食育推進計画を配布するときに一緒に配布をした。また栄養事業等の参加者への配布、歯と口の健康での参加者への配布、及び健康課窓口での配布を行った。 また夏休みの栄養講習会(学務課との合同事業)で地場野菜について講義でふれた。	今後も事業等で地場野菜について機会があれば触れていきたい。	B								○		健康課
19	36	6	料理講習会	地産地消を推進するため、農業経営者クラブと連携し、地場産野菜を利用した料理教室を実施する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。	新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、安全で安心できる食生活の実現に向け、新鮮で安全な地元野菜を市民に周知できるようJA女性部と実施内容、開催方法を検討する。	D	■地場産野菜を使用した料理教室 新型コロナウイルス感染対策の観点から内容を変更し、地場産野菜を使ったクリスマスバスケットを作るワークショップを予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。	生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける取組を継続していく。	D								○		経済課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
20	36	7	新たな特産物の普及促進	JAなどと連携し、ルバーブなど新たに特産化の可能性がある農産物の情報を生産者へ提供する。 ■地場産野菜を使用した料理教室 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。 ■学校給食 ルバーブパンを年に1回、市内公立小中学校全校で提供。その他各小・中学校でルバーブジャム・ルバーブチキン・ルバーブクランブル・ルバーブチーズケーキ・ルバーブといちごのマドレーヌ ルバーブマドレーヌ・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・鶏のから揚げルバーブソース・ルバーブといちごのジャムなどを提供。	ルバーブの取組みについては進められているが、ルバーブ以外の特産化の取組みはできていない。	B	■地場産野菜を使用した料理教室 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず。 ■学校給食 ルバーブパンを年に1回、市内公立小中学校全校で提供。その他各小・中学校でルバーブジャム・ルバーブとブルーベリーのジャム・ルバーブチキン・鶏のから揚げルバーブソース・ルバーブクランブル・ルバーブとクリームチーズのバリバリ揚げ・ルバーブマドレーヌ・ルバーブとブルーベリーのマドレーヌなどを提供。	ルバーブの取組みについては進められているが、ルバーブ以外の特産化の取組みはできていない。	B							○		経済課
21	36	8	生産者との交流促進	生産者との交流や生産体験の機会として、農地等の見学会を行う。	令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける取組を継続していく。	D	■農家交流会 対象：市民 参加数：22人参加 場：関野町の畑2箇所	市民を対象に募集し、2箇所の農地で収穫体験終了後、参加者と農家の意見交換会を実施した。 生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける機会となった。 令和5年度以降も引き続き継続していく。	A							○		経済課
22	36	9	野菜収穫体験	食品リサイクル堆肥を使って育てた野菜の収穫体験を行う。	令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、生産者との交流や生産体験機会を通して身近な農業の大切さを感じていただける取組を継続していく。	D	■市民向けに収穫体験を実施 全4回（参加者：①16名②5名③9名） ■公務員宿舎に設置された生ごみ処理機利用者、家庭用生ごみ処理機から出る生ごみ乾燥物の戸別回収を実施している世帯及び土曜生ごみ投入参加者を対象に収穫体験を実施 全4回（参加者：①12名②7名③11名）	市民向けの収穫体験では、資源循環の説明を併せてすることで、ごみの減量及び資源循環の理解が深まった。 生ごみ処理機を利用されている方向けの収穫体験では、普段からごみ減量への意識が高く、収穫物の食べ方紹介では大根の葉を使用したレシピ等にも興味を持ってもらい、資源循環の大切さに加え、ごみの発生抑制の重要性の周知も図ることができた。	B							○		ごみ対策課
23	36	10	保育園出張講座	公立保育園の園児を対象に資源循環の紙芝居と食品リサイクル堆肥を使ったプランター野菜の収穫体験を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 代替として、公立保育園向けに紙芝居を作製した。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 代替として、公立保育園向けに紙芝居を作製した。	新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ事業を実施していきたい。	B							○		ごみ対策課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課							
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦								
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進											ア保健センター							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
24	37	1	マタニティクッキング	妊婦とそのパートナー等に妊娠期における栄養の摂り方等の講義・実習・試食を行う。	実施回数：2回6人 (平日2回、土曜日2回だったが、予防接種事業のため、平日2回となった。)	産休に入るまで動いている方が多いため、令和4年度は、両親学級と重ならないようにしてすべて土曜日で対応したい。また、両親学級の参加で家族2人で参加する方を望む方が多いことから1家庭2名までとしたい。	C	実施回数：2回6人	実施日を平日2回・土曜日2回から土曜日4回に変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可としたが、集客ができず、事業を廃止することとした。(コロナ前から参加者も減少していた)その分の予算を令和5年度の離乳食完了食に回すことにした。	C															健康課
25	37	2	両親学級	妊婦とそのパートナー等に各種講義を行う中で栄養講義を行う。	実施回数：4回(平日、土曜日のプログラムに栄養は入らないため。) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭1名)	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムが同じになることになり、土曜日に栄養の講義ができることになったので受講者の増員が見込まれる。	B	実施回数：16回(平日、土曜日ともプログラムに栄養が入る。) 参加者数：妊婦111人、パートナー100人(実習中の密を避けるため、土曜日は、各家庭1名)	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムが同じ内容になり、土曜日にも栄養の講義ができることになった。令和5年度は、平日だけでなく、土曜日もパートナーとの参加が可となったので、さらに受講者の増員が見込まれる。	A															健康課
26	37	3	離乳食教室	生後4～5、6～7、8～11か月児を対象に分け、それぞれの保護者を対象に離乳食の講義、試食を行う。ただし、4～5か月については、集団健診内で行うこともある。	離乳食教室(1回食) 実施回数：24回(同日に2回) 参加者数190人 離乳食教室(2回食) 実施回数：12回 参加者数：83人 離乳食教室(3回食) 実施回数：12回 参加者数：75人	2年間どの教室も定員を9人にしてきたが、1～2人のキャンセル件が多いので他の講習会と同様10人とする。また新たに1回食の教室(1回10人×2回/日)を開催	B	離乳食教室(1回食) 実施回数：24回(同日に2回) 参加者数174人 離乳食教室(2回食) 実施回数：12回 参加者数：82人 離乳食教室(3回食) 実施回数：12回 参加者数：92人	定員を9人から10人に変更。令和5年度は、前年間合せのあった両親での参加も認めるため、定員は10人のままにする。年4回(10人×2回/日)の完了食の教室を新たに開催する予定である。	B															健康課
27	37	4	乳幼児食育メール	健康ナビ登録者から希望者に対し、メールにて食育等の情報提供を行う。	配信回数：毎月1回配信 登録者数(配信可能数)：2189人 0～1歳783人、2～3歳859人、4～5歳547人	今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう、継続していきたい。	B	配信回数：毎月1回配信 登録者数(配信可能数)：1447人 0～1歳531人、2～3歳509人、4～5歳407人	広報は行っているが年々対象者は減ってきている。今後も限られたスペースで多くの情報の提供ができるよう工夫していきたい。	B															健康課
28	37	5	こどもクッキング	未就学児とその保護者を対象に、調理・試食を含む栄養教室を行う。	実施回数：3回 参加者数：26人(親子13組)	2～3歳と3～5歳という枠で募集している。試食がなくとも調理体験などで参加者が楽しめるよう工夫していきたい。	C	実施回数：4回 参加者数：39人(親子17組)	2～3歳と3～5歳という枠で募集している。調理体験を通して年少者の食べることへの関心を引き出せるよう継続していきたい。	B															健康課
29	37	6	乳幼児保健相談(のびのび広場相談)	乳幼児を対象に、地域センター等で計測を行い、希望者に保健師・管理栄養士等が相談を行う。	実施回数：29回 実施者数：164人 実施場所：貫井南センター、東センター、婦人会館、保健センター	令和4年度より丸山台集会所施設、上水会館の2か所が追加となるのでより多くの方に対応可能となる予定。	B	実施回数：64回 実施者数：278人 実施場所：貫井南センター、東センター、婦人会館、上水会館、丸山台集会所施設、保健センター	令和4年度は、予約制だったが、令和5年5月8日からはコロナ以前と同様、予約なしになる。さらにより多くの方に対応可能となる予定。	A															健康課
30	37	7	栄養個別相談	管理栄養士によるアレルギー食や子どもの食事相談を行う。	実施回数：10回 実施者数：22人 実施場所：保健センター	必ずしも年間予定の日ばかりではなかったが、不在以外は対応している。他に電話対応は、115件あった。	B	実施回数：4回 実施者数：5人 実施場所：保健センター	前もって予約してくれるのは、難しい場合もあり、開きたいときに電話ですませたい方も多く、電話や窓口に来た方については、可能な限り、対応している。電話対応は、87件あった。出産応援事業やファーストバースデー事業のアンケートで栄養の困りごとが多かった。	B															健康課
31	37	8	エンジェル教室	5か月児とその保護者を対象とした育児知識等の各種講習の中で、離乳食の講義・試食を行う。	実施回数24回(2日間コース) 参加者数(延数)大人131人、子ども121人 子どもの口の発達に見合った離乳食の形状や食べさせ方を知ることにより、負担なく離乳食を進められることをめざす。	栄養士に質問できる時間をつくり、母親の不安感の軽減につながったと思われる。試食の中止(コロナウイルス感染症予防対策のため)が続く中で、すりつぶし体験や食に対する情報提供を行うことで、離乳食づくりの負担軽減につなげる。	B	実施回数：12回(2日間コースの内1日) 参加者数(延数)：大人165人子ども145人 子どもの口の発達に見合った離乳食の形状や食べさせ方を知ることにより、負担なく離乳食を進められることを目指した。	すりつぶしの体験を取り入れたことで、栄養士や参加者同士が交流し、離乳食に対する不安の軽減につながった。離乳食を始めている方も多く、すりつぶしの食材を増やしなが、引き続き離乳食づくりの負担軽減につなげる。	B														子育て支援課 (子ども家庭支援センター)	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課				
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦					
生涯にわたる食育推進											①乳幼児と保護者の食育推進											
イ保育所・幼稚園等																						
32	38	1	年間食育計画をもとにした食育	食育計画や年間行事計画を作成し、子どもの発達に応じた食育事業を実施する。	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	B	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	B	年間を通して子どもたちと食を共にすることから一食一食を大切にすることはもちろんのこと、年間の計画を作成し、体系的に食育事業を実施した。	○	○	○	○							保育課	
33	38	2	収穫体験	農業体験として園児が収穫したイモを、調理して食べる。	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で利用した(公立全5園各5回以上開催)。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の向上が図れた。	B	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で利用した(公立全5園各5回以上開催)。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の向上が図れた。	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で利用した(公立全5園各5回以上開催)。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の向上が図れた。	B	農家の方の協力による芋ほりや園庭で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらの食材を給食及びクッキング保育で利用した(公立全5園各5回以上開催)。収穫から体験することで、生産者への感謝や食に対する興味の向上が図れた。								○	○		保育課	
34	38	3	給食だより	給食だよりを配布・掲示する。特に、食育月間・食育の日の取組を行う。	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。	B	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。	B	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図れるよう情報提供を行った。		○	○	○								保育課
35	38	4	クッキング保育	園児がクッキング体験をし、食の知識やその大切さを学ぶ。	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら可能な範囲で実施した。		○	○	○								保育課
36	38	5	食物アレルギー等の個別相談	必要に応じて保護者と個別に相談し、給食に反映させる。	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。	B	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。	B	食物アレルギーがある子どもの保護者と個別に随時面談を行い、医師による生活管理指導表に基づいた対応で給食に反映させた。								○	○			保育課
37	38	6	栄養士による出前講座	市立保育園の栄養士が児童館に出向き、食育相談を行う。	新型コロナウイルス感染拡大のため、実施しなかった。	D	新型コロナウイルス感染拡大のため、実施しなかった。	新型コロナウイルス感染拡大のため、実施しなかった。	D	新型コロナウイルス感染拡大のため、実施しなかった。		○	○	○								保育課
38	38	7	生産者・食材納品業者等との交流	地域の生産者・食材納品業者等と園児がふれあい、特に野菜や魚の実物が見られるよう配慮する。	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	B	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園	B	農家の方にご協力をいただき芋掘りを行い、給食の食材として利用した。じゃがいも掘り 5園 さつまいも掘り 5園									○	○		保育課
39	38	8	地域向け食育活動	離乳食、幼児食、アレルギー食等について、地域からも参加できる食育相談や講習会、試食会を実施する。	例年、地域の子育て中の人を対象に、全5園で園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、実施しなかった。	D	例年、地域の子育て中の人を対象に、全5園で園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部の実施にとどまった。	例年、地域の子育て中の人を対象に、全5園で園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部の実施にとどまった。	D	例年、地域の子育て中の人を対象に、全5園で園庭開放利用者や見学者の食育相談を行ったり、一時保育利用者の相談を行うなど、地域の人が参加できる食育相談を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、一部の実施にとどまった。		○	○	○					○	○		保育課
40	38	9	地域連携の推進	私立の保育所・幼稚園等との連携を推進する。	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。	B	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。	B	保健センター(健康課)の管理栄養士と公立保育園栄養士との連携を取り、市の方向性を統一できるように努めた。									○			保育課
41	38	10	家庭と協働した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう支援する。	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材等を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し乳幼児食への理解促進に努めた。	B	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材等を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し乳幼児食への理解促進に努めた。	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材等を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し乳幼児食への理解促進に努めた。	B	園ごとに保育園給食のおすすめレシピや旬の食材等を紹介。保護者向けに展示やレシピメモを配布し乳幼児食への理解促進に努めた。									○	○		保育課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進 ウ児童館											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
42	38	1	子育て相談会	<p>保護者に対する食事や栄養をテーマにした専門家による講演会及び相談会を行う。</p> <p>【本町児童館】 離乳食講座等 4回/32人 ・離乳食講座 2回/14人 ・幼児食講座 2回/18人</p> <p>【東児童館】 離乳食講座 3回/32人</p> <p>【貫井南児童館】 離乳食相談会 2回/19人</p> <p>【緑児童館】 離乳食講習会等 5回/69人 ・離乳食講習会 3回/22人 ・食育相談会 2回/47人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理・試食スタイルを中止した他、定員を半数以下に設定して実施した。</p> <p>次年度も感染対策を継続しつつ実施していく。</p>	B	<p>【本町児童館】 離乳食講座等 5回/54人 ・離乳食講座 2回/20人 ・幼児食講座 2回/22人 ・子育て栄養相談会 1回/12人</p> <p>【東児童館】 離乳食講座等 5回/70人 離乳食講座 3回/42人 ・ぼおぼおミ講座 2回/28人</p> <p>【貫井南児童館】 離乳食相談会 2回/23人</p> <p>【緑児童館】 離乳食講習会等 5回/46人 ・離乳食講習会 2回/18人 ・食育相談会 2回/20人 ・夏の健康相談会 1回/8人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理・試食スタイルを中止した他、定員を半数以下に設定して実施した。</p> <p>次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。</p>	B			○	○					児童青少年課
43	38	2	乳幼児食事会	<p>子育てひろばや幼児グループで行う食を通じての交流会(情報を交換し、食育に対する理解を深める)を行う。</p> <p>中止</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理や喫食のある事業は中止した。</p> <p>子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。</p> <p>次年度も感染対策をしつつ実施できる場合は継続して実施していく。</p>	C	<p>【本町児童館】 幼児グループ食事会 実施せず</p> <p>【東児童館】 幼児グループ食事会 4回/72人</p> <p>【貫井南児童館】 幼児グループ食事会 4回/52人</p> <p>【緑児童館】 ・幼児グループ焼き芋、食事会 2回/32人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理のある事業は中止したが、一部の館で焼き芋やお弁当を持参しての食事会をした。</p> <p>子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。</p> <p>次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。</p>	A			○					児童青少年課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課							
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦								
生涯にわたる食育推進 ②学齢期の食育推進											ア小学校							①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
44	39	1	学校における食育の推進と情報発信	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	農家見学等、一部実施が困難なものもあったが、小学校では食に関する全体計画をもとに、生活科の学習や野菜を育てる体験学習を実施した。コロナ禍において、食育の目標達成が困難なものもあった。	C	新学習指導要領を踏まえて、改めて食育に関する指導内容を系統立てた全体計画の見直しを行うよう指導する。	農家の訪問見学など一部実施が困難なものもあったが、食に関する全体計画をもとに、生活科の学習や野菜を育てる体験学習などを実施した。ICT端末を用いて直接体験の代替学習を実施した。コロナ禍において、黙食が継続されたため食育の目標達成が困難なものもあった。	これまで実施が困難だった学習活動についても、感染防止等に配慮しながら実施できるよう検討を進める。ICT端末を活用した学習についてさらに研究し、実践するよう指導する。給食において黙食の必要がなくなったので、食育の目標達成に向けて給食指導の充実に努めていきたい。	B			○		○		○		○			指導室			
45	39	2	給食を通じた食育	栄養教諭・食育リーダーを中心に、授業や給食委員会の活動・日々の給食を通して、望ましい食習慣を身につけさせる。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。なお、講演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止となったため、参加していない。	A	食育リーダー会で検討・作成したリーフレットを小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	食育リーダー会を開催し、食に関する全体計画の作成に向けて、各校の取組及び課題についての情報共有を行った。	教育委員会より食育に関する様々な資料を提供した。引き続き学校に有益な情報の提供に努め、各校の食に関する全体計画の改善を進めていきたい。	B			○		○		○		○		○	学務課・指導室			
46	39	3	地域と交流した食育活動	給食だより・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	B	地域の生産者等との交流については、引続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者等との交流については、引続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者等との交流については、引続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B			○		○		○		○		○	学務課・指導室			
47	39	4	家庭と協働した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だより等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	A	今後も継続していく。	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	学務課		
48	39	5	栄養講習会(親子クッキング教室)	小学生とその保護者を対象に、生活習慣病予防につながるテーマについて講義・実習・試食を行う。	実施者数：3組	C	コロナ禍でのお子さん対象の事業のため、集客が難しかった。来年度は対象年齢を下げて実施予定。	実施者数：親子6組(大人6人子ども6人)	令和3年度に引き続き、同内容で学年のみ変更し、年齢に合わせた説明等を行った。興味を持って話を聞いたり、調理体験を楽しんだりすることができた。今後も継続する予定である。	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課・学務課			

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
生涯にわたる食育推進 ②学齢期の食育推進 イ学童保育所・児童館 ウ公民館											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
49	39	1	食育指導 (学童保育所)	食えるを通して、団らんの楽しさ、作ることの楽しさ、食べることの楽しさを仲間と分かち合う。	各学童保育所ごと日常のおやつとは別に月に1回は食育の日を決めて、テーマをもって食育に取り組み、食にまつわること、季節を感じることから食卓育、マナーまで幅広く学んでいる。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはもちろん季節に応じた食を提供すると同時に、食育の日にはテーマをもって食を意識できるように取り組みを感じることから食卓育、マナーまで幅広く学んでいる。	B	各学童保育所ごと日常のおやつとは別に月に1回は食育の日を決めて、テーマをもって食育に取り組み、食にまつわること、季節を感じることから食卓育、マナーまで幅広く学んでいる。	日常のおやつの中では手洗い、マナーはもちろん季節に応じた食を提供すると同時に、食育の日にはテーマをもって食を意識できるように取り組みを感じることから食卓育、マナーまで幅広く学んでいる。	B			○	○					児童青少年課
50	39	2	料理教室 (児童館)	主に小学生から中・高校生までを対象として手作りを基本とした料理教室を行い、作り方を指導し、食を共にしながら相互に交流を図る。また、地場野菜等を通じた生産者との交流や環境に配慮した料理教室等を実施する。	【本町児童館】 ・幼児グループいも掘り (4回/62人) 【東児童館】いも掘り 11回/226人 ・幼児グループいも掘り (4回/145人) ・低学年グループいも掘り (6回/71人) ・高学年グループいも掘り (1回/10人) 【貫井南児童館】 ・幼児グループいも掘り (4回/62人) 【緑児童館】 ・幼児グループ農業体験 (4回/80人)	新型コロナウイルス感染症の影響で調理や喫食のある事業は中止した。 次年度も感染対策をしつつ実施できる場合は継続して実施していく。	B	【本町児童館】 各種料理教室等 9回/132人 ・幼児グループ芋ほり (4回/91人) ・低学年グループ (4回/31人) ・高学年グループ (1回/10人) 【東児童館】 各種料理教室等 15回/239人 ・幼児グループ芋ほり (4回/74人) ・低学年グループ (4回/42人) ・高学年グループ (1回/11人) ・低学年グループいも掘り (4回/88人) ・高学年グループいも掘り (2回/24人) 【貫井南児童館】 各種料理教室等 10回/146人 ・幼児グループ芋ほり (4回/52人) ・低学年グループ (2回/19人) ・高学年グループ (1回/7人) ・春の遊ぼうハンまつり (1回/46人) ・スペース@ヌグイ (1回/5人) ・ティーンズ合宿 (1回/17人) 【緑児童館】 各種料理教室等 7回/90人 ・幼児グループ芋ほり (2回/32人) ・低学年グループ (3回/43人) ・高学年グループ (2回/15人)	新型コロナウイルス感染症の影響で調理や喫食のある事業はほとんど中止となったが、3月に野外調理や室内でのおやつ作り等を実施した。 次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。	A			○						児童青少年課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
51	40	1	学校における食育の推進と情報発信[再掲]	学習指導要領に基づく学校ごとの食に関する指導全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	中学校では、食に関する全体計画をもとに、保健体育の時間に健全な心身の成長を図るための学習を実施した。家庭科の時間においては、調理など制限が必要なものもあったが、健康的に暮らすために健全な食生活の実現についての学習を実施した。	B	職場体験活動など一部実施が困難なものもあったが、食に関する全体計画をもとに、保健体育科の健全な心身の成長を図るための学習や家庭科の調理実習学習などを実施した。ICT端末を用いて直接体験の代替学習を実施した。コロナ禍において、朝食が継続されたため食育の目標達成が困難なものもあった。	これまで実施が困難だった学習活動についても、感染防止等に配慮しながら実施できるよう検討を進める。ICT端末を活用した学習についてさらに研究し、実践するよう指導する。給食において朝食の必要がなくなったので、食育の目標達成に向けて給食指導の充実に努めていきたい。	B		○	○	○		○		指導室	
52	40	2	給食を通じた食育[再掲]	栄養教諭・食育リーダーを中心に、授業や給食委員会の活動・日々の給食を通して、望ましい食習慣を身につけさせる。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。なお、講演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止となったため、参加していない。	A	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	食育リーダー会議で検討・作成したリーフレットを小学校1年生の児童の保護者へ配布した。	A		○	○	○		○	○	学務課・指導室	
53	40	3	地域と交流した食育活動[再掲]	給食だより・校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引続き指導室・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	B	地域の生産者等との交流については、引続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	地域の生産者等との交流については、引続き授業の一環として実施できるよう小中学校や指導室に協力を求める。	B				○		○	○	学務課・指導室	
54	40	4	家庭と協働した食育支援[再掲]	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食だより等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	A	小中学校全14校で給食だよりを毎月発行している。	今後も継続していく。	A	○	○	○	○		○	○	学務課	
55	40	5	ミニパンフレットによる情報発信	青年期向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、関係機関に配する。	青少年向けミニパンフレットを成人式(中止のため、取りに来た方のみ)で800部用意した。	B	青少年向けミニパンフレットを成人式に750部配布用として用意した。	来年度は、多摩府中保健所にて制作中の朝ごはんについてのパンフレットを配布する予定である。	B		○		○	○	○		健康課	

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課	
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進 イ成人・高齢者の食育推進											①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
56	41	1	栄養個別相談	生活習慣病等、個人のニーズに合わせた栄養に関わる相談を行う。	実施回数：10回 実施者数：19人	月1回の決められた日時にくるのは、難しいという意見もあり、聞きたいときに電話ですませたい方も多く、電話や窓口に来たついでの方には、可能な限り、対応している。なお、電話相談は9件だった。	B	実施回数：5回 実施者数：13人	月1回の決められた日時にくるのは、難しいという意見もあり、聞きたいときに電話ですませたい方も多く、電話や窓口に来たついでの方には、可能な限り、対応している。なお、電話相談は8件だった。	B			○	○	○	○	○	○	健康課
57	41	2	栄養講習会	生活習慣病や健康づくりに関するテーマを設定し、テーマに合わせた栄養講義や調理実習を行う。	栄養講習会：5回（小学生とその保護者向けを除く）参加者数：33人	定員は昨年同様。調理実習・試食ははしたが、講義とデモで引き付けるだけではなく、参加者にも感染対策の上、短い時間ではあるが、アンケートだけではなく、直接意見なども伺ってきたい。	B	栄養講習会：5回（小学生とその保護者向けを除く）参加者数：28人	定員は昨年同様10人。講義とデモで行った。終了してからも質疑応答がつづくことも珍しくなかった。	B			○	○	○	○	○	○	健康課
58	41	3	健康づくりフォローアップ指導教室	糖尿病や骨粗しょう症など、疾病や年齢に合わせた栄養講義を行うことにより、疾病の予防や健康に対する意識の啓発、生活習慣の改善を支援する。	糖尿病予防教室：9人 骨粗しょう症予防教室：8人 いきいき健康教室：7人 血管若返り教室：中止 親子健康教室：中止 ボディメイク教室：9人 計33人	昨年に引き続き、コロナ禍のため、積極的な動員は行っていない。	B	糖尿病予防教室：9人 骨粗しょう症予防教室：7人 いきいき健康教室：8人 血管若返り教室：10人 親子健康教室：9人(大人4人子ども5人) ボディメイク教室：8人 糖尿病回復会：7人 計58人	昨年に引き続き、コロナ禍のため、積極的な動員は行っていない。令和5年にコロナ禍が緩和されれば、積極的な動員を行う予定である。	B			○	○	○	○	○	○	健康課
59	41	4	特定保健指導	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対して、特定保健指導を行うことにより、疾病の予防や早期発見、健康に対する意識の啓発、生活習慣の改善を支援する。	特定保健指導対象者数 動機付け支援：601人 積極的支援：196人 特定保健指導利用者数 動機付け支援：121人 積極的支援：18人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対し、特定保健指導を行った。今後も特定保健指導の利用率が向上するよう利用動員を行い、管理栄養士・保健師と共に、対象者にあった食生活の見直し等を行う。	B	特定保健指導対象者数 動機付け支援：555人 積極的支援：206人 特定保健指導利用者数 動機付け支援：105人 積極的支援：35人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高い結果となった方に対し、特定保健指導を行った。今後も特定保健指導の利用率が向上するよう運動教室も併用しながら利用動員を行い、管理栄養士・保健師と共に、対象者にあった食生活の見直し等を行う。	B				○	○	○			保険年金課
60	41	5	成人学校	食に関する様々なテーマを取り上げた講座等を開催する。	令和3年度以降は、菜園教室に統合した。	—													公民館
61	41	6	成人学校「菜園教室」	【目的】額に汗しながら土に親しみ、野菜の共同栽培を通じて作る喜びを分かち合います。また、土起こしから収穫までを体験する。	令和3年4月14日～令和4年3月9日 原則毎週水曜日実施（全40回） 延べ参加者570人	第4次小金井市生涯学習推進計画の中の「公民館を活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けていることから、貫井南分館の「江戸野菜に親しみよう」及び緑分館の「共働夢農園」を本館で1本化して統合した。	B	令和4年4月6日～令和5年3月8日 原則毎週水曜日実施（全43回） 延べ参加者831人	第4次小金井市生涯学習推進計画の中の「公民館を活用する学びの推進」で野菜づくり講座を事業の柱として位置付けている。令和4年度は20人で32種類の野菜を育て、野菜のつくる喜びを体験した。	A							○	○	公民館
62	41	7	6024・8020運動の推進	生涯を通じて健康的な食生活が実践できるよう、60歳～24歳以上、80歳で20歳以上の歯がある方の増加を目指す。	歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施した。コロナ禍のため、減少傾向と思われたが、受診者数と対象者の割合は昨年とほぼ同じだった。受診者数：1,829人	昨年同様、20歳から80歳までの5歳刻み節目年齢の方を対象に実施した。対象年齢について検討を図りながら、今後も継続して実施する。また、8020運動と共に、6024運動も推進していく。	B	歯周疾患の早期発見に努め、生涯を通じ、自分の歯で過ごすことができるようにするため成人歯科健診を実施した。コロナ禍で受診者は減少傾向かと思われたが、受診者数は昨年度より増加傾向が認められた。受診者数：2073人	昨年同様、20歳から80歳までの5歳刻み節目年齢の方を対象に実施した。対象年齢について検討を図りながら、今後も継続して実施する。また、令和5年度より成人歯科健診を実施する方のうち、75歳、80歳を対象に加え、70歳も対象に口腔機能評価を行うことにした。	B							○		健康課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
63	41	8	配食サービス	精神障がい者配食サービス 配食数：3,929食	安否確認や栄養に配慮した食事を届けることについては重要であると考えため、今後も継続する。	B	精神障がい者配食サービス 配食数：4,960食	安否確認や栄養に配慮した食事を届けることについては重要であると考えため、今後も継続する。	B				○					自立生活支援課
				食の自立支援事業 24,099食 (268人) (65歳以上で介護の要支援以上の方に週3回夕食を配る)、 651食 (10人) (65歳以上で介護の要支援以上の方に週4回～6回夕食を配る) 緊急配食サービス 11食 (3人) (退院などの理由で1週間程度配食する)	配食を利用すると、その利便性から外出の機会が減ることから、会食会を開き、近場を散策した後、利用者同士で食事を摂ることで、外出の機会を増やし、生きがいづくりを支援したが、令和2年11月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、会食会を休止し、茶話会として実施している状況が続いている。 一日おおむね80食という委託内容であるが、それを超える利用者数となっている。今後の受入れ体制の確保が課題である。 令和2年度より、週4回から週6回の配食サービスも行っている。	B	食の自立支援事業 24,412食 (261人) (65歳以上で介護の要支援以上の方に週3回夕食を配る)、 1,425食 (12人) (65歳以上で介護の要支援以上の方に週4回～6回夕食を配る) 緊急配食サービス 43食 (9人) (退院などの理由で1週間程度配食する)	配食を利用すると、その利便性から外出の機会が減ることから、会食会を開き、近場を散策した後、利用者同士で食事を摂ることで、外出の機会を増やし、生きがいづくりを支援したが、令和2年11月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、会食会を休止し、茶話会として実施している状況が続いている。 一日おおむね80食という委託内容であるが、それを超える利用者数となっている。今後の受入れ体制の確保が課題である。 令和2年度より、週4回から週6回の配食サービスも行っている。	A				○	○				
新			介護予防・フレイル予防普及啓発	高齢者が介護予防の知識を得て、地域でできるだけ自立した生活が継続できるよう高齢者が参加している通いの場に保健師が出向き、介護予防・フレイル予防の知識(栄養・口腔)についての講話を行う。	小金井さくら体操自主グループの会場において介護予防の知識(栄養・口腔)について啓発を行った。さくら体操の自主グループ以外の通いの場等においても広く啓発を行う。		小金井さくら体操完全自主グループ 19名 短期集中予防サービスの利用者等 37名	短期集中予防サービスの参加者等を対象に介護予防・フレイル予防のための栄養について管理栄養士の講座を実施。 令和5年度は地域の高齢者を対象に講座を開催し、高齢期の栄養のポイントについて具体的に啓発を行っていく。	B		○		○	○				介護福祉課
64	41	9	ミニパンフレットによる情報発信	高齢者向けの食育に関するミニパンフレットを作成し、関係機関に配する。	(令和4年度からの計画にあり) 今まで高齢者関係の事業や他課からの要請には、多摩府中保健所からいただいた資料で対応してきたが、在庫もなくなったことやカラーでのダウンロードができないことから2～3年以内に簡単なちらしを作成したいと考えている。		令和4年度は作成なし。	今まで高齢者関係の事業や他課からの要請には、多摩府中保健所からいただいた資料で対応してきたが、在庫もなくなったことやカラーでのダウンロードができないことから2～3年以内に簡単なちらしを作成したいと考えている。	D		○	○	○	○	○			健康課

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			効果があったと思われる 食育の視点 ※2							担当課						
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み 及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み 及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							
5 計画の推進に向けて																								
(1) 施策の推進体制																								
65	42	1	食育推進会議	食育推進会議を継続して開催し、本計画の進捗状況を検証するとともに、必要な推進策を検討する。	令和3年度もコロナ禍のため、1回のみ書面開催としたが、全4回開催することができた。また、委員の任期が1月末のため、それに合わせて4回目を1月末とした。タイトな日程だったが、食育計画の策定を予定どおり終了することができた。	B	令和4年度もコロナ禍のため、1回のみ書面開催としたが、全4回開催することができた。	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	B	今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	○	○	○	○	○	○	○	健康課						
66	42	2	食育コーディネータの設置	食育に関する関係機関等との連携を促進する。	令和3年度活動状況：6件 コロナ禍を反映しているせいか、依頼が少なかった。	B	令和4年度活動状況：5件 昨年引き続き、コロナ禍を反映しているせいか、依頼が少なかった。	今後も引き続き継続していく。	B	今後も引き続き継続していく。	○	○	○	○	○	○	○	健康課						
67	42	3	食育推進検討委員会	市の食育推進事業の円滑な推進を図るため、関係課による食育推進検討委員会を開催する。	令和3年度の会議は書面会議1回だったが、各課担当者とは、計画策定中、何度も確認等のやり取りを行った。	B	令和4年度の会議は書面会議1回。進捗状況調査の回答について行われた食育推進会議の会議録でそれぞれの課で関係している部分について意見等をもらう。	次回計画策定の際には、書面開催であってももう少し回数を増やしたい。	B	計画策定までに時間のある時は、今年度の方法で開催してもいいと思う。	○	○	○	○	○	○	○	健康課						
68	42	4	大学等との連携推進	若年層に対する対策及び食育に関する実態等の継続的な研究推進のため、大学等との食育推進事業の連携を推進する。	今年度はいままでのパンフレットを増刷りして配布をした。	C	令和4年度まで配布分があるので、次に作成する令和5年以降となるのでその時には、協力を求めたい。	令和4年度についても以前作成したものを成人式で750部配布した。	B	令和5年度に東京都多摩府中保健所主催の北多摩南部圏域栄養・食生活ネットワーク会議（保健所、学識経験者、6市健康管轄課、関係施設職員）において若者向けの栄養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	○	○	○	○	○	○	○	健康課						

「子ども食堂」みんなの居場所「また明日」訪問報告

訪問した日時 2023年4月19日(水) 17:30~18:15

場所 小金井市貫井南町4-14-14 1階

代表 森田 眞希 様

◎本日のメニュー おでん

ひじき混ぜご飯

マカロニサラダ

ご飯 2升5合 60食分

◎子供スタッフ 10人

大人スタッフ 8人

◎この場所は、昼間はデイホームと保育園、地域の寄り合い所として使っている場所を第3水曜日の夕方より「地域食堂」として開放しています。施設で飼っている犬も参加しています。

◎台所で子ども達がお飯にひじきを混ぜ、もう一つのテーブルで子ども達がお弁当にサラダと混ぜご飯を詰めていました。コロナ禍以降は配付するお弁当の準備は部屋の中で行い、お弁当や保存食品などは前庭で受け渡しできるようにしています。子ども達も配付の手伝いをしてくれているそうです。

◎お弁当は取りに来た子どもや大人に一つずつ渡しており、現在は持って帰って食べてもらっています。お弁当や保存食品などは基本的に無料。寄付箱も設置していました。寄付は自由です。

◎コロナ禍で子ども食堂を中止したり、できることが少なくなってしまった中、可能なことを工夫し考え、市内で総菜屋や八百屋を営む方にキッチンカーで来てもらい、小金井産の野菜やジャム、イチゴ、総菜も購入できるようにしました。コロナ感染者が増えた月はお弁当の準備も依頼しました。訪問時はキッチンカーでビン詰めやスポンジケーキ、イチゴなどを売っていました。子ども達が販売のお手伝いもしていました。

◎庭には鯉のぼりが出してありました。そこで子ども達がテーブルを出して準備のお手伝いをしていました。

記 井上正子

「子ども食堂」ポムの訪問報告

訪問した日時 2023年2月16日(木) 17:00~18:00

場所 小金井市中町4-7-7 食堂は17:00から20:00

- ◎小金井神社の近くの一軒家で。小さな庭もあって、子ども達には都合がよいとの事でした。
- ◎当日は17:00頃に訪問しましたが、既に食事は用意されていました。
- ◎子ども食堂として使っているのは2部屋で、子どもの保育や遊びのための部屋が1部屋です。台所に2人、テーブルに運ぶ方が2人、別の部屋に子ども達と一緒にいる方が1人の計4人の女性がいました。
- ◎子ども達は5~6人で遊んでいましたが、他に小さい子を連れてきて食事を持って帰る方が3組来て、タッパーに食事を入れてもらって帰る様子も様子も見られました。
- ◎今日のメニュー
 - ・ビビンバ丼
 - ・小松菜と厚揚げの煮物
 - ・里芋の味噌汁
 - ・デザートはフルーツポンチメニューの副菜で使っている野菜は地域の農家の方からいただいています。
- ◎4人の女性がしっかりと子ども達のために用意をしていました。この日は子どもが31人参加。部屋の広さから見ても人数はちょうどいいのではと思いました。
- ◎ほかにプレーパークの常連の子ども達が中高生になって集まるようになった処もあるようです。
- ◎今後の希望としては配送ボランティアの方が必要との事でした。

記 井上正子

今月の会務より

令和5年6月18日(日) 10:00~12:00 13:30~15:30 小金井 宮地楽器ホール

小金井市民の歯と口の健康 2023

来場者数: 374名

口腔がん検診受診者数: 124名

未就学児ぬりえ絵画展覧会



位相差顕微鏡でみてみよう!



そしゃく力・だ液検査



はとくち川柳



小中学生ポスターコンクール



ペーパークラフトで歯をつくろう!



紙しばい



JR 東小金井駅における「ちゃんとごはん」キャンペーンの実施報告

日時：令和5年7月6日（木曜日）午前8：00～8：30（30分間）

場所：JR 東小金井駅コンコース

協力：株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン
東京電機大学高等学校

実施概要：ア 動画チラシ及びキャッチコピー入りティッシュの配布
イ 放送部による駅構内放送（朝食を食べよう！）※1
ウ 漫画美術同好会制作「ちゃんとごはん」啓発ポスターの掲示 ※1
※1 イ及びウは7月20日（木曜日）まで2週間継続実施

<展示の様子等>

A



B



C



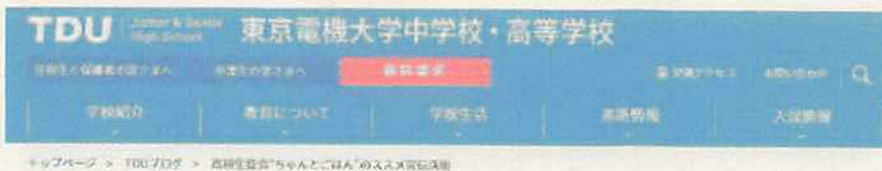
A: 駅構内掲示（朝ごはんを食べよう！）

B: 駅構内掲示（朝ごはん啓発ポスター）※2

C: 配布したポケットティッシュ※2

※2 B及びCは東京電機大高等学校漫画美術同好会による制作

<東京電機大学中学校・高等学校ホームページより抜粋>



高校生徒会「ちゃんとごはん」のススメ宣伝活動



高校生徒会が「若い世代向け「ちゃんとごはん」のススメ」（東京都多摩府中保健所）宣伝活動に参加しました。

多くの人に活動を知っていただけるよう、東小金井駅（JR中央線）にて朝から元気に声を出して活動しました。駅では本校の放送部による構内アナウンス、漫画美術同好会によるポスターも掲示されています。

東小金井駅をご利用の際は、是非ともご覧いただければと思います！

WEBで
公開中

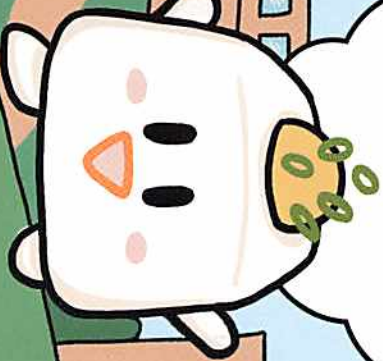


朝食で

1歩前へ!

“ちゃんとおはん”習慣で
健康的な学生生活を

ぼくが
朝ごはんの大切さを
説明するよ!



多摩府中保健所
食育推進ウェブサイト **ぼくたん**

多摩府中 ちゃんとおはん

検索



朝ごはんを
ちゃんと食べると、
こんなイイことが...

Point 1

心と体の安定!



Point 2

スツキリ
お通じへの近道!



Point 3

集中カマツプ!



視聴は
こちら



多摩府中 ちゃんとおはん

検索



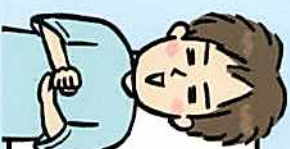
“ぼくたん”が朝食の大切さを
伝えるムービー
WEBで公開中



テストの成績
アップのカギは
朝食?!



あなたにもできる!
朝ごはんを
食べるための
工夫とは?!



詳しくは
こちらから見てね



多摩府中 ちゃんとおはん

検索



東京都多摩府中保健所

R70



